

(記者発表資料)



---

# 平成30年度当初予算(案) の概要

みんなの知恵と技術で、新しい価値を生む  
まちづくりの推進

与謝野町



## 過去4年間の年次スローガン

平成26年度: 持続可能なまちづくりを進めるために、可能性を模索してきた年。

平成27年度: 可能性をつなぎ合わせ、躍動する年、うねり（Groove）を生み出す年。

平成28年度: 生み出したうねりをさらに大きなうねりにすべく、行動を起こす年。

平成29年度: 種を蒔き、水をやり進めてきた事業が花開き「楽しみを生み出す年」



## 平成30年度予算のポイント

平成30年4月に町長・町議会議員選挙が執行されるため

### 骨格予算として編成

- 基本29年度からの継続事業については、当初予算に計上
- 投資的経費（普通建設事業等）は、必要最小限とし基本6月補正予算（肉付け）にて計上
- 新規事業についても、基本6月補正予算（肉付け）にて計上

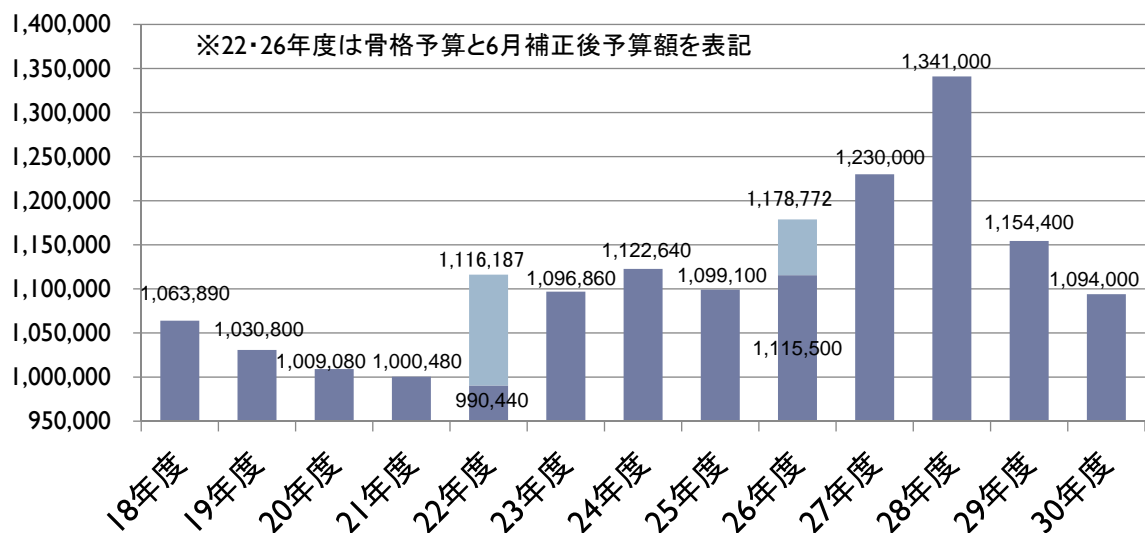
経常的事業については、本町の財源の中心となっている普通交付税の合併算定替えの逡減による影響から、29年度から更に減少することとなるため、マイナスシーリングとなるように予算編成を実施

## 予算の規模（一般会計）

### ▶ 一般会計予算(骨格予算) 109億4,000万円

・平成29年度当初予算比較 : 6億400万円減 (▲5.2%)

単位(万円)



## 予算規模（特別会計・水道事業会計含む）

一般会計・特別会計(8会計)・水道事業会計の

### ▶ 予算総額 196億6,325万円 対前年度: ▲3.4%(6億9,601万円減)

単位(万円)

会計別	30年度当初	29年度当初	増減率(%)
宅地造成事業特別会計	7,931	8,928	▲11.2
下水道特別会計	169,370	169,150	0.1
農業集落排水特別会計	4,140	4,100	1.0
介護保険特別会計	270,050	267,290	1.0
土地取得特別会計	40	41	▲3.1
国民健康保険特別会計	250,220	317,600	▲21.2
後期高齢者医療特別会計	27,950	27,960	0.0
財産区特別会計	8,520	9,480	▲10.1
水道事業会計	134,104	76,977	74.2
<b>特別会計・水道事業会計合計</b>	<b>872,325</b>	<b>881,526</b>	<b>▲1.0</b>

# 平成30年度主要事業



平成30年度予算も、引き続き「6つの政策」を重点に予算編成

		事業費
重点	①新しい視点での産業振興策	81,632千円
	②観光振興、交流人口の促進	54,638千円
	③地域密着型の福祉政策	18,683千円
重点	④新たな視点での子ども子育て支援策	188,742千円
重点	⑤未来を見据えた教育施策	14,716千円
	⑥徹底した情報の透明化、どなたでも参画できる町政の実現	4,129千円
<b>総事業費：</b>		<b>362,540千円</b>

# 平成30年度主要事業

## ①新しい視点での産業振興策

自然循環農業推進事業		15,985千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	与謝野町が推進してきた自然循環農業を進化させるべく、肥料の品質改良、地域資材を活用した堆肥の開発等により、農産物の高付加価値化を図ります。 また、与謝野町の主要農産物である“京の豆っこ米”、“白大豆”の生産振興・広報宣伝を展開。		農林課
	1)京の豆っこ肥料の改良、より環境に配慮した新肥料の開発 ・地域資源を活用した堆肥の試験製造など	2,400	
	2)肥料散布委託、特別栽培米補助金	3,910	
	3)京の豆っこ米販売促進 ・与謝野町の特色ある農業を紹介するポータルサイトの制作 ・京の豆っこ米販促事業支援など	5,350	
	4)白大豆生産振興及び作業受託補助金	3,325	
	5)新規需要作物の試験栽培 ・水稻新品種、トウガラシなど	1,000	

# 平成30年度主要事業

## ①新しい視点での産業振興策

### 特色ある農業推進事業

9,131千円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>これまで取り組んできた自然循環農業に加え、ICT（情報技術通信）農業の取り組みや、従来の化学的評価に加え土壌健全性の観点から土づくりを評価するSOFIX（土壌肥沃度指標）認証による農産物のブランド展開、新規土地利用型作物としての国産ホップの生産など、これら全体を「与謝野版農業モデル」とする産地・農産物の高付加価値化の取り組みを実施。</p> <p>1)農業モデル確立事業補助金 ・農業者が行うSOFIX（土壌肥沃度指標）による土壌診断の支援 ・ホップ棚設置・交流体験事業等の支援</p> <p>2)地域おこし協力隊[29年度任用] ホップの栽培・体験・販路拡大の支援を行うことで、農業産地としての「与謝野」の知名度を高める</p>	<p>2,000 3,000</p> <p>4,131</p>	農林課

# 平成30年度主要事業

## ①新しい視点での産業振興策

### シルクプロジェクト推進事業

13,785千円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>国外に依存している養蚕を「安心安全がみえる」産業構造構築に向け、原材料での信頼を獲得（ブランド化）し、桑栽培から養蚕、商流に乗せるまでを一貫して行い、桑・シルクを軸にした“しごと創出”を図る。</p> <p>1) 地域おこし協力隊（1名） ・与謝野シルクプロジェクトを実践したい方を募集し、育成を図る</p> <p>2) シルクプロジェクト事業 ・シルクプロジェクト事業費補助金（桑栽培・養蚕事業）</p>	<p>3,785</p> <p>10,000</p>	商工振興課

### 丹後ちりめん創業300年関連事業

2,107千円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>2020年に迎える「丹後ちりめん創業300年」を丹後産地の「ものづくり産業文化」と「地域の魅力を広く発信する機会」ととらえ、京都府、関係市町及び丹後織物工業組合等との連携により、丹後ちりめんの地域ブランドの向上と未来に繋げるための人材育成を目指し、円滑な事業展開を図る。</p> <p>・丹後ちりめん創業300年事業実行委員会負担金</p>	2,107	商工振興課

# 平成30年度主要事業

## ①新しい視点での産業振興策

### 織機調整等支援・生産基盤支援事業

17,300千円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	基幹産業である織物業及びその関連産業の振興と発展を図るため、今なお高い技術力を維持している織物業に係る織機等の維持補修などの経費負担に対する助成を行うことにより、生産機能の向上や底上げ、新たな商品開発の機運を高め、織物業界の生産低下や後継者不足への対応を図る。  1)織物織機調整等支援事業補助金 2)織物業生産基盤支援事業費補助金	2,300 15,000	商工振興課

### 織物職人人材確保事業

5,000千円

区分	事業概要	事業費	担当課
拡充	従来から与謝野町商工会に委託している町織物技能訓練センターを活用した織物振興事業を拡充する。力織機の織物職人の養成プログラムに加え、手織り職人の養成プログラム、織物職人短期体験プログラムを新たに構築し、町内外に情報発信を行うことで、人材の発掘と職業訓練機会を創出し、業界の課題である担い手不足の解消をめざす。  ・織物職人養成プログラム企画運営委託料	5,000	商工振興課

# 平成30年度主要事業

## ①新しい視点での産業振興策

### テキスタイル産地化支援事業

15,000千円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	基幹産業である織物業及びその関連産業の振興と発展を図るため、和装に加えて洋装・インテリア・生活雑貨等の新たな市場への進出を目指す「テキスタイル産地化」に取り組む織物事業者に対して、織機の広幅化の設備投資に対する助成を行うことにより、その取り組みの支援を図る。  ・テキスタイル産地化事業補助金（織物業生産設備広幅化支援）	15,000	商工振興課

# 平成30年度主要事業

## ①新しい視点での産業振興策

### 与謝野ブランド戦略事業

3,324千円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	与謝野ブランド戦略のコンセプト「みえるまち」（安心安全・個性・もてなしがみえる）に基づき、農商工連携による民間事業が創出される環境を構築するため、商工会・観光協会・金融機関・中小企業診断士で構成し公募事業等の審査を行う「与謝野ブランド戦略審査会」を継続運営するとともに、同事業の実施主体で設立される予定の「与謝野ブランド戦略推進事業者連絡協議会（仮称）」（事務局：与謝野町商工会）への運営補助を行う。 また、町内外へ情報発信を行い、民間事業の創出、事業参入への意欲を喚起する。		商工振興課
	1)与謝野ブランド戦略事業審査会委員報償費等	192	
	2)与謝野ブランド戦略推進事業者連絡協議会運営補助金	230	
	3)与謝野ブランドサイトリニューアル委託料	1,000	
	4)かへ新聞「うちのまち」制作、うちのまち講座講師謝礼等	1,682	

# 平成30年度主要事業

## ②観光振興、交流人口の促進

### むらの活力向上事業

6,027千円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	京阪神を中心とした大学生が夏休みと春休みを利用して与謝野町内に滞在し、地域と交流しながら様々な地域課題の解決に向けた取り組みを行うことで地域活性化を進めるとともに、継続することにより与謝野ファンを増やし、関係人口の獲得を目指す。		農林課
	1) 京都Xキャンプ与謝野事業活動費	3,000	
	2) 地域おこし協力隊員（京都Xキャンプ与謝野事務局 兼 新規就農者）	3,027	



# 平成30年度主要事業

## ②観光振興、交流人口の促進

海の京都DMO支援事業		26,450千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>■海の京都DMO与謝野地域本部事業</p> <p>町の観光推進事業の根幹を担う与謝野町観光協会の組織強化を図り、事務・事業執行の体制強化及びまちづくり観光を基軸とした「観光地域づくり」「体験プログラムづくり」を中心に、海の京都エリアにおける与謝野町独自の滞在型交流の仕組みを構築し、海の京都DMO本部及び各地域本部との連携をもとに、観光客の誘致を図り、観光振興による人的交流の促進並びに観光消費額を押し上げ、地域経済の活性化を図る。</p> <p>・与謝野町観光協会補助金</p>	21,183	観光交流課
	<p>■海の京都広域連携事業</p> <p>5市2町の観光協会を統合した観光商社機能を有した「一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（通称：海の京都DMO）」が行う市場調査や体験プログラムの造成、国内外でのプロモーションなど、海の京都事業も年々進展している中、地域住民や観光事業者との連携構築を図る。</p> <p>・海の京都DMO広域観光推進事業費負担金</p>	5,267	

# 平成30年度主要事業

## ②観光振興、交流人口の促進

美心与謝野魅力発信事業		4,000千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>平成29年度事業で「海の京都滞在コンテンツ造成事業（滝・ツバキエリア、ちりめん街道エリア、温江・山の家エリア）」を実施してきたが、その商品のブラッシュアップや地域資源を生かした新たな体験商品の開発及びプロモーション事業を展開し、更なる滞在交流を推進することにより、本町が有する地域資源を活用した滞在交流型の観光地域づくりを加速させ、観光客の誘致を図り、観光振興による人的交流の促進並びに観光消費額を押し上げ、地域経済の活性化を図る。</p> <p>・観光地域づくり組織支援事業補助金</p>	4,000	観光交流課

# 平成30年度主要事業

## ②観光振興、交流人口の促進

旧加悦町役場整備事業		18,161千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>■旧加悦町役場庁舎耐震改修調査</p> <p>旧加悦町役場庁舎は、平成27年3月に実施した予備調査で、構造的、耐震的な問題、また腐朽、蟻害などの劣化も見られている。</p> <p>このような状況を踏まえ、官学連携による地盤調査、構造詳細調査、耐久性調査を実施して、構造安全性、耐震安全性、防・耐火における問題を明確にするとともに、京都府指定有形文化財であることを念頭に歴史調査を行い、旧加悦町役場庁舎の文化財的・意匠的価値を損なわない構造改修・補強や耐震補強の方針を策定する。この方針に基づき、構造補強設計、耐震補強設計、防・耐火対策を検討し、構造・耐震補強、改修案（基本設計）の提案をいただき実施設計に結び付ける。</p>	9,893	観光交流課
	<p>■旧加悦町役場調査耐震改修工事（実施設計費）</p> <p>旧加悦町役場庁舎は昭和4年に建築され、現在の耐震基準に合致しておらず、施設の利活用に制限があることに加え、来る2020年の「丹後ちりめん生誕300周年」及び「加悦奥川改修完了」に向け、本施設の耐震化工事を実施し、地域の拠点施設として利活用を図る。</p> <p>改修工事：平成31年度着工予定</p>	8,268	

# 平成30年度主要事業

## ③地域密着型の福祉政策

喀痰吸引等研修事業		240千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>町内福祉事業所に勤務する介護職員が看護師に代わって痰の吸引等の医療的処置が行えるよう研修に参加した場合の研修費用の助成（1/2）を実施。</p> <p>・120千円×1/2×4人</p>	240	福祉課

介護福祉士資格取得研修事業		1,000千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>町内福祉事業所に勤務する職員の資質向上と町内福祉施設への定着を目的に、本町に事業所を有する事業者が、その所属する職員に対し介護福祉士の資格取得に係る研修に対して補助した場合に、一定の条件下に補助する。</p> <p>介護福祉士資格取得に係る研修費用のうち、補助事業者が受講者に対して補助した額（受講予定者が有する資格ごとに25千円～50千円の限度額を設定）を補助する。</p> <p>・補助上限額 50千円×20人</p>	1,000	福祉課

## 平成30年度主要事業 ③地域密着型の福祉政策

地域医療確保奨学金貸付事業		10,140千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>与謝野町内にある医療法に規定する公的医療機関において医師として将来従事しようとする医学生、臨床（専門）研修医等を対象に、奨学金制度を1市2町連携事業で実施。</p> <p>【月額150千円～200千円を上限とし貸与（返還免除規定有り）】</p> <p>京都府立医科大学附属北部医療センターにおいて、将来「助産師または看護師」として勤務希望する看護学生を対象に、奨学金制度を1市2町連携事業で実施。</p> <p>【年額1,000千円を上限とし貸与（返還免除規定有り）】</p>	10,140	保健課

## 平成30年度主要事業 ③地域密着型の福祉政策

### ■介護保険特別会計

地域サロン開設事業		550千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	地域の空き家等を利用して高齢者サロン等を運営するボランティア（団体）やNPO法人等に対して、家賃、光熱水費等の経費に対して助成する。	550	福祉課

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)家賃等助成金制度		6,753千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	同じ入所型施設でありながら特別養護老人ホームに比べて利用者負担が高くなっている認知症対応型生活介護施設(グループホーム)に家賃、食費に対して助成する。	6,750	福祉課

## 平成30年度主要事業

### ④新たな視点での子ども子育て支援策

認定こども園整備事業

159,316千円

(内 施設進入路整備: 106,000千円)

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	誰もが就学前の教育・保育を受けることができる環境づくりを推進するため、町内を3地域に区分し、各地域に1箇所ずつ幼保連携型認定こども園を設置する計画に基づき、加悦地域について次の事業を実施する。		子育て応援課 建設課
	1)「加悦地域こども園(仮称)」の新園舎の新設に向けた基本設計・実施設計	53,000	
	2)施設進入路の整備 認定こども園及び特別養護老人ホームの建築のための工事用道路を整備。 また、施設完成後にはアクセス道路として、大呂谷線・桑小下線(仮称)の道路整備を行う。 (全体の整備延長は約460mで、その内約180mは新設となる。)	106,000	
	3)認定こども園整備スケジュール ・31年度工事着工、32年度末完成、33年度開園(予定)		

## 平成30年度主要事業

### ④新たな視点での子ども子育て支援策

生活困窮家庭自立支援事業

200千円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	生活困窮者自立支援法施行(平成27年度)により、生活保護受給に至る前の段階の自立支援策の強化を図ることとなり、その中でも、子どもの貧困対策・貧困の連鎖を断つことに重点を置き、京都府との連携により学習支援・生活支援を実施する。 ・週2時間程度、NPO法人「宮津・与謝子育て・教育ネットワーク」に委託し、訪問型事業として実施。	200	福祉課

障害者相談支援等事業(障害児相談支援)

3,000千円

区分	事業概要	事業費	担当課
拡充	障害があり様々な不安を持つ家庭に対して、専門的知識を有した相談員がその不安に寄り添い、適切できめ細やかな支援を行う。 ・相談支援の実績がある発達支援事業所に委託。 ・障害児等に対する障害理解・受容や対応へのアドバイス、適切な相談先・支援へのつなぎ等を実施。	3,000	子育て応援課

## 平成30年度主要事業

### ④新たな視点での子ども子育て支援策

子育て世代包括支援センター事業		25,668千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>妊娠・出産・就学前、就学後の子育てにおける切れ目のない支援として、子育て家庭に母子保健施策と子育て支援施策の両面から一体的な支援の提供を行い、様々な手続きや相談をワンストップで利用できる拠点としての子育て世代包括支援センターを子育て応援課内に設置。</p> <p>1) 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援事業の充実 不妊治療費助成、母子手帳交付、妊婦健康診査受診券交付に加え、今年度より保健課から子育て応援課に全ての母子保健事業（赤ちゃん訪問・乳幼児健診等）を移管し実施。 ブックスタート事業、支援ファイルの活用、児童家庭相談事業、子育て支援センターでの相談事業の内容を充実して実施。</p> <p>2) 家庭支援としての子どもの発達保障の充実 年中児発達サポート事業、保育所職員・小中学校等教職員への専門職による巡回相談事業の実施、養育困難家庭学習・生活支援事業。</p>	25,668	子育て応援課

## 平成30年度主要事業

### ④新たな視点での子ども子育て支援策

放課後学習支援事業		558千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>さまざまな理由により家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない児童への学習支援として、長期休業（夏休み等）中を除き、放課後に週1回1時間程度の補習を担任と本事業講師による実施する。</p> <p>・町内全小学校で実施 ・学習の遅れを取り戻すと共に自立学習の習慣化を促進</p>	558	社会教育課

# 平成30年度主要事業

## ⑤未来を見据えた教育施策

与謝野みらい大学事業		7,000千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>「与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人材の育成」を創出する「人材」育成の場として、平成29年7月より「ヨサノ大学事業」、「リベラルアーツ事業」、「与謝野ブランド戦略インキュベーション事業」を統合し、「よさのみらい大学」として開校。</p> <p>平成30年度は、他事業との連携を図るとともに平成29年度事業を踏襲し、「リベラルアーツコース」、「地域づくり学部」、「与謝野ブランド戦略ビジネス学部」の、それぞれのコース・学部から具体的な成果へとつながる多種多様な講座を開催。</p>	7,000	企画財政課 商工振興課 観光交流課 社会教育課
平成29年度			
平成30年度			

# 平成30年度主要事業

## ⑤未来を見据えた教育施策

アベリスツイス交流事業		2,957千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>アベリスツイス（英国・ウェールズ）とは、昭和59年から高校生相互派遣交流を民間団体を中心に実施しており、平成30年度は、与謝野町在住高校生のアベリスツイス派遣を実施予定。</p> <p>また、アベリスツイス大学との産学連携・文化交流を実施予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) アベリスツイス高校生相互派遣交流（派遣）</li> <li>2) アベリスツイス大学サマースクール留学 ・大学が企画する夏休み期間中の英語研修プログラムへの参加者を募集。</li> <li>3) アベリスツイス大学生の受入れ ホストファミリー、保育園児・小中高等学校生徒や各種団体との交流、企業訪問、日本文化の体験等を通じて国際理解を深める。</li> </ol>	2,957	観光交流課

## 平成30年度主要事業 ⑤未来を見据えた教育施策

### 小学校外国語教育推進事業 1,090千円

区分	事業概要	事業費	担当課
拡充	<p>平成32年度に改訂される新学習指導要領において、小学校3年生から外国語教育が実施されるため、本町の小学校での先行実施として取り組む。</p> <p>小学校の英語授業（3・4年生は35時間、5・6年生は50時間）を実施するとともに、外部委託講師と学級担任のチーム・ティーチングによる授業を昨年度に引き続き実施し、質の高い授業を目指すとともに学級担任の英語指導力の向上を図る。</p>	1,090	学校教育課

### 青少年育成事業(イングリッシュキャンプ) 400千円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>町内の小学生に英語でコミュニケーションを取ることの楽しさを知ってもらうことで、多様性を理解するための土壌を育む事業を実施。</p> <p>・小学6年生を対象に、1泊2日で、日本語を使わない英会話によるグループ活動を実施。</p>	400	社会教育課

## 平成30年度主要事業 ⑤未来を見据えた教育施策

### 高校魅力化推進事業 3,269千円

区分	事業概要	事業費	担当課
拡充	<p>町内唯一の高校であり、町の最高学府である加悦谷高校が、魅力的で地域に選ばれる学校となるために、町と高校との連携・協働をより一層推進し、将来の与謝野町を担う人づくりに資する。</p> <p>・魅力化コーディネーターの常駐配置（地域学習・グローバル学習の推進・積極的な魅力発信・将来ビジョンの策定）</p> <p>・小高・中高交流の実施</p>	3,269	社会教育課

# 平成30年度主要事業

## ⑥徹底した情報の透明化、どなたでも参画できる町政の実現

広報・広聴事業		4,129千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>行政情報、政策情報および地域情報を、「広報よさの」と「広報よさのお知らせ版」にまとめ、町内外に配布するほか、町ホームページ、SNSを活用し情報発信を実施。</p> <p>また広聴の取り組みとして、「町政懇談会」、「高校生との対話授業（加悦谷高等学校、宮津高等学校）」、「どこでも町長室（ランチミーティング形式）」を継続して開催。</p> <p>町民の皆さんからの意見や、将来を担う高校生の斬新な考えなど、まちづくりに対する思いをお聞きし、町政運営に生かすことを目的に実施。</p> <p>・広報誌の印刷製本など</p>	4,129	企画財政課

# 平成30年度主要事業 その他事業

生ごみ処理容器設置事業費補助金		200千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>電気式生ごみ処理容器の補助限度額を10千円から15千円に引き上げるなど、平成28年度を「ごみ減量化取組強化期間」として、ごみの減量化を推進してきたが、平成30年度も引き続き、15千円の補助限度額を継続することで、電気式生ごみ処理容器の普及を図ると共にごみの減量化の推進も継続。</p>	200	住民環境課

「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来へつなぐ条例」 阿蘇海の日		2,893千円	
区分	事業概要	事業費	担当課
継続	<p>本町と宮津市及び京都府と協議の上、平成28年度に「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来へつなぐ条例」を制定。</p> <p>平成29年度以降は、この条例制定の趣旨等に鑑み、「阿蘇海の日（7月14日）」に本町と宮津市との共同で環境浄化等の啓発事業の取り組みを実施。平成30年度は本町が自治総合センターの助成を受け、環境講演会などを実施予定。</p>	2,893	住民環境課

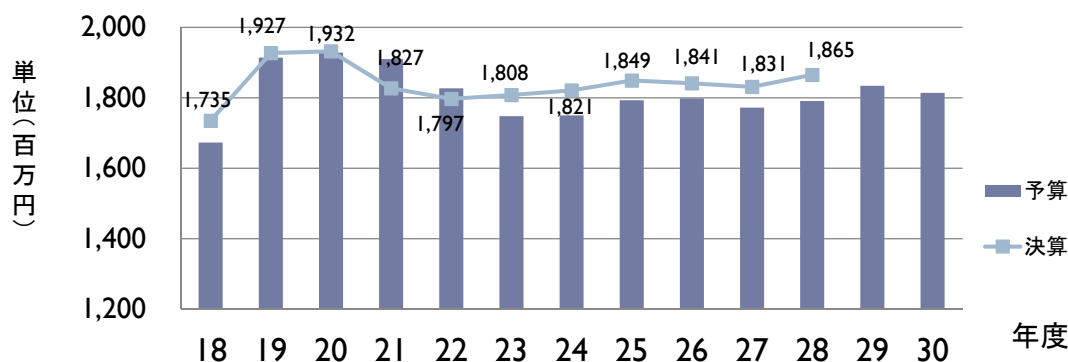


## 資料編

### <町税の状況>

▶ **町税総額 18億1,421万円** 対前年度:1,961万円減(▲1.1%)

税目	30年度予算	29年度予算	増減率(%)
町民税	8億2,907万円	8億1,423万円	1.8
固定資産税	7億9,247万円	8億793万円	▲1.9
軽自動車税	7,267万円	7,065万円	2.9
町たばこ税	1億2,000万円	1億4,100万円	▲14.9
都市計画税	0	1万円	-
合計	18億1,421万円	18億3,382万円	▲1.1



## 資料編

### <町税の状況 (前年度比較) >

#### ■町民税

町民税内訳		30年度予算	29年度予算	増減率(%)
個人	所得割	7億500万円	6億9,100万円	2.0
	均等割	3,490万円	3,500万円	▲0.3
	滞納繰越分	810万円	1,100万円	▲26.4
法人	法人税割	3,400万円	3,100万円	9.7
	法人均等割	4,650万円	4,570万円	1.8
	滞納繰越分	57万円	53万円	7.5
合計		8億2,907万円	8億1,423万円	1.8

#### ■固定資産税

固定資産税内訳	30年度予算	29年度予算	増減率(%)
土地	2億7,677万円	2億8,046万円	▲1.3
家屋	3億8,335千円	3億9,440万円	▲2.8
償却資産	1億1,041万円	1億981万円	0.5
滞納繰越分	831万円	963万円	▲13.7
固有資産等所在市町村交付金	1,363万円	1,363万円	0.0
合計	7億9,247万円	8億793万円	▲1.9

## 資料編

### <町債の状況（一般会計）>

▶ **平成30年度末町債現在高見込み 140億1,667万円**

対前年度:5億6,941万円減(▲3.9%)



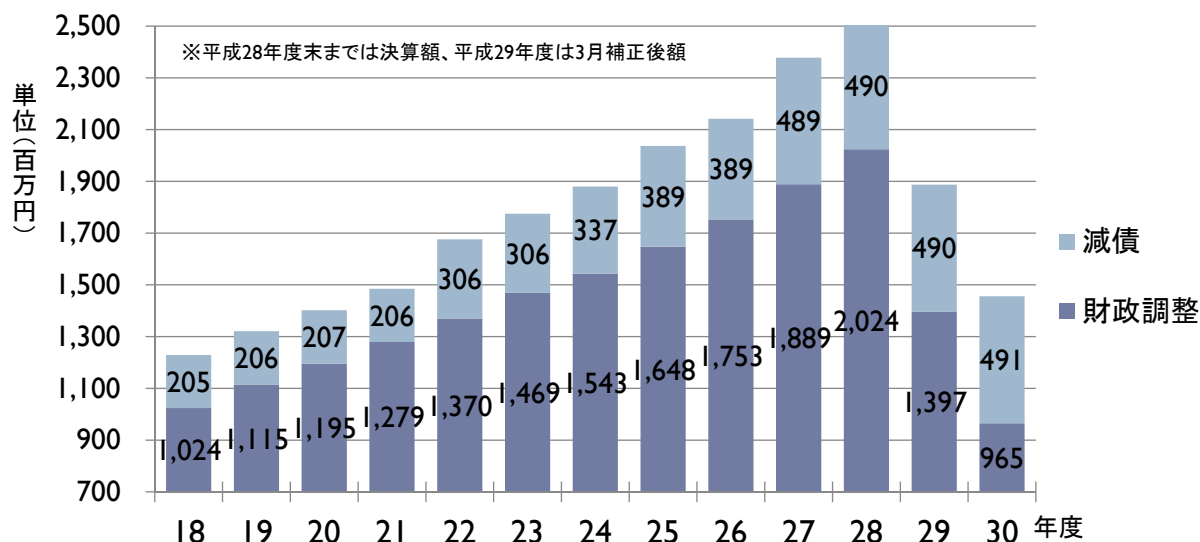
## 資料編

### <基金の状況（財政調整基金・減債基金）>

▶ **平成30年度末基金現在高見込み（平成29年度3月補正後）**

財政調整基金： 9億6,541万円（前年度比較：4億3,142万円減(▲30.9%)）

減債基金： 4億9,077万円（前年度末比較：38万円増(0.1%)）



## 資料編

### < 基金取り崩しによる財源調整 >

➡ 当初予算において「財政調整基金」4億3,300万円を取崩し財源調整。

対前年度：▲18.0%（9,500万円減）

財政調整基金は、当初予算編成時には不確定な財源もあるため財源補てんとしている。決算時には取崩し額「0」を目指す。

当初予算時の財政調整基金取り崩し額推移

単位(百万円)

基金名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
財政調整基金	0	200	100	80	0	45	200	420	365	465	479	528	433

※18～28年度決算時におきましては、財政調整基金の取り崩しはありません。

## 資料編

### < 普通建設事業の状況（一般会計） >

➡ 平成30年度普通建設事業見込み 2億4,472万円

・29年度当初予算比較：3億2,053万円減（▲56.7%）

【平成30年度実施予定の主な普通建設事業】

単位：万円

事業名	普通建設事業費	主な内容	担当課
道路新設改良事業	10,600	認定こども園及び特別養護老人ホームの建築のための工事用道路整備工事費等（大呂谷線・桑小下線（仮称））。	建設課
認定こども園施設整備事業	5,300	（仮称）加悦認定こども園設計委託料	子育て応援課
農業用施設整備事業	3,690	岩屋ほ場整備事業（換地業務委託料、測量委託料、ほ場整備工事）、基幹的取水施設等改修工事	農林課
旧加悦町役場整備事業	827	旧加悦町役場庁舎耐震改修工事に係る実施設計委託料	観光交流課

※普通建設事業費は、道路・学校・公園などの公共施設の建設費や用地取得費等の経費。